

## 研究課題名「肝門部領域胆管癌根治切除術後の膵液瘻に関する検討」に関する情報公開

### 1. 研究の対象

2008年1月1日～2017年12月31日に消化器外科1で肝門部領域胆管癌の手術を受けた方

### 2. 研究目的・方法・研究期間

肝門部領域胆管癌に対する手術治療は、肝切除および肝外胆管切除再建が標準術式とされています。本術式において術後膵液瘻は時に経験する合併症ですが、これに関して検討した報告はいまだかつてありません。本研究では肝門部領域胆管癌術後の膵液瘻について発生頻度、術後経過、膵液瘻発生のリスク因子を検討することが目的です。2008年1月1日から2017年12月31日までに当院消化器外科1で肝門部領域胆管癌にたいして肝外胆管切除を伴う肝切除術を受けた402例を対象とし、診療録から患者データを参照し、術後膵液瘻について統計学的解析を行い、検討します。

研究責任者は株式会社ヤクルトの資金提供による寄付講座に所属するため、同社と利益相反関係にあります。同社は、本研究計画の立案、実施、データ管理、統計解析および結果の解釈には一切関与しないため、本研究は同社から独立して公正に実施されます。したがって同社のために有利な結果を導くことはなく、あなたの権利、利益が損なわれることもありません。

### 3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：年齢、性別、体重、手術内容、術後経過、検体（採血、ドレーン排液）検査結果等

### 4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

名古屋大学大学院 腫瘍外科学 〒466-8550 名古屋市昭和区鶴舞町 65

研究担当者・研究責任者：

名古屋大学大学院医学系研究科外科周術期管理学（ヤクルト）寄附講座 渡辺 伸元